

千葉県婦性会だより

平成 27 年 9 月 1 日

# ふくでん

題字：会長 橋本 照稔

更生保護法人 千葉県婦性会

千葉県千葉市若葉区貝塚町 27 番地 tel 043-231-1610 fax 043-231-1621  
http://www.chibaken-kiseikai.org E-mail kiseikai@abeam.ocn.ne.jp

一人でも多く受け入れられる処遇施設としての態勢作りをすすめたい

千葉県婦性会

施設長

長 沼 秀 明



この度、千葉保護観察所での勤務が御縁で、六月十六日付で施設長に就任させていただくことになりました。どうぞよろしくお願ひ致します。

さて、更生保護施設の役割は「更生の意欲があっても保護者などの引受人がなく、適当な住居がないなどのために更生を妨げられるおそれのある人達に一定の期間、住居や就労機会などを提供し、順良な社会人として自立更生できるように支援する」ことであり「人生について考える場を提供する学校」であるといわれており、当会の名称の由来にも「人間は本来、仏になる美しい心、仏性を宿している」として、本来の人間に帰って欲しいとの願ひを込めて「婦性会」と名付けられたと伝えられています。

実際場面では、職員の見ていないところで、金をせびり、仕事に行こう

とする者の邪魔をするなど、更生とは程遠い生活を送る心ない者もいます。こんな時「人間の持つ仏性」に疑いを持ちたくなることがあります。盗をくり返してきて止められなかった人が、更生保護施設の援助で「親身になってくれる人」に巡り合い更生して行ったことを見るのが出来た時、人間に対する信頼を砕こうとする少数者に翻弄されないで、理想と現実の狭間を行き来しつつも理想を諦めることなく、支援を続けて来て良かったと思える瞬間に立ち会える幸運に導いてくれることがあります。

在会者の一部で格好をつけるなどして秩序を乱してくる人も、根っこ部分では、生育過程において、義理の父親から真冬にペランダに放置され、逆さ吊りにされて熱湯に浸けられる虐待を受けたことなどから、正常な人間関係を築けなくなり、そのことで、社会に溶け込めず「寂しい思い」を持ち続けてきている。そのことで虚勢を張り続けていることなどを理解し、心証を優先させることなく、人間科学に基づいた、これら、人の善意を素直に受け取れなくなっている人達にも対処できる態勢

を準備することが求められています。総論では人を愛せるが、各論では人を愛せないとならないよう、科学的知見に立った処遇プログラムの数を増やし、いわゆる「素直になれない人」にも対応できる態勢作りをすすめたいと考えています。そのことが、更生意欲のある仮釈放者等を少しでも多く受け入れ可能にし、引いては、自立のための支援を多くの人に提供できる体制が整い再犯防止に繋がると考えています。

今後とも、地域の皆さんや更生保護関係者の皆さんのお力をお借りして、「婦性会」の円滑な運営に心がけていきたいと思っておりますので、ご支援の程よろしくお願ひ申し上げます。

『ふくでん』とは千葉県婦性会が過去「千葉福田院」と称したことに因み、名づけたものであり、「福田」とは佛教語で「善い行いの種子を蒔いて、福德の収穫を得る田畑」との意味合いとなります。

題字を書いて戴いた成田山新勝寺貫首であり千葉県婦性会会長でもある橋本照稔氏に、この広報誌を「ふくでん」と名付けていただきました。